

2024（令和6年）年度

事業報告書

法人の概要

- I. 設置する学校及び所在地（2025年3月31日現在）
- II. 設置する課程・学科・コースの学生数
- III. 教職員数
- IV. 役員等の状況

事業の概要

京都YMCA国際福祉専門学校

- I. 2024年度教育概況
- II. 各学科の教育
- III. 進路・就職
- IV. 学生生活支援
- V. その他事業
- VI. 地域協力

舞鶴YMCA国際福祉専門学校

- I. 2024年度教育概況
- II. 各学科の教育
- III. 進路・就職
- IV. 学生生活支援
- V. その他事業
- VI. 地域協力

学校法人京都YMCA学園

学校法人京都YMCA学園

法人の概要

I. 設置する学校及び所在地 (2025年3月31日現在)

【専修学校】

- 京都YMCA国際福祉専門学校
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2番地
- 舞鶴YMCA国際福祉専門学校
舞鶴市字浜 1546-3

II. 設置する課程・学科・コースの学生数

1. 京都YMCA国際福祉専門学校

(1) 文化教養専門課程

学科・コース	入学定員	入学者数	収容定員	総学生数
日本語科 2年コース	45名	43名	90名	53名
1.5年コース	45名	62名	90名	89名
課程合計	90名	105名	180名	142名

(2) 社会福祉専門課程

学科・コース	入学定員	入学者数	収容定員	総学生数
介護福祉学科	40名	19名	80名	28名
課程合計	40名	19名	80名	28名

(3) 別科社会福祉士科通信課程 *募集停止

学科・コース	入学定員	入学者数	収容定員	総学生数
社会福祉士科通信	100名	0名	200名	0名
課程合計	100名	0名	200名	0名

2. 舞鶴YMCA国際福祉専門学校

(1) 商業実務専門課程

学科・コース	入学定員	入学者数	収容定員	総学生数
国際観光ビジネス学科	40名	3名	80名	1名
課程合計	40名	3名	80名	1名

(2) 社会福祉専門課程

学科・コース	入学定員	入学者数	収容定員	総学生数
介護福祉学科	40名	15名	80名	32名
課程合計	40名	15名	80名	32名

III. 教職員数

- (1) 文化教養専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 19名
- (2) 社会福祉専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 24名
- (3) 商業実務専門課程教員 本科・附帯事業教員数(非常勤含む) 9名
- (4) 職員 専任職員・契約職員 12名

IV. 役員等の状況

【理事】 理事定数 6名

野村 武夫（理事長）・加藤 俊明（校長）・中西 昌哉・森 亮

森田 芳文・高田 敏尚

【監事】 監事定数 2名

松村 康弘・藤田 寿男

【評議員】 評議員定数 16名

野村 武夫・加藤 俊明・阿部 和博・藤原 貴子・伊藤 恭子・徐 恩熙

山本 孝・高田 敏尚・奥村 正治・石田 晋治・森 亮・本田 義史・草野 功一

隠塚 功・好崎 志保・阪野 学

事業の概要

京都YMCA国際福祉専門学校

I. 2024年度教育概況

グローバル人材養成を基軸においた教育活動を展開して7年目になり、日本語科への外国人学生の入学が増えました。大学・大学院への進学目的の学生以外に総合的な日本語能力の向上を図り、日本での就労を希望する学生の増加が顕著になってきました。より高度な日本語力と日本文化・習慣を習得させる教育内容が求められています。

介護福祉学科へは、今年度も様々な国の留学生が介護福祉士国家資格取得を目指して入学してきました。

II. 各学科の教育

(1) 日本語科

105名の入学生を迎え、同年10月時点での総学生数は144名となりました。

これはコロナ前の2019年度の総学生数を上回る結果となり、回復と成長の兆しが見られました。

また、これまでは漢字圏の入学生が大多数を占めていましたが、今年度は非漢字圏の入学生が漢字圏の1.6倍以上となり、出身国の多様化が進んでいます。

なお、入学生のうち47名は、日本における介護分野での就労を視野に、日本語能力の向上に努めています。

(2) 介護福祉学科

今年度は日本人高卒生に加え、フィリピン・ミャンマー・ベトナム・ネパール・スリランカからの留学生を迎えました。

多職種のゲストスピーカーを招いての講義をはじめ、福祉用具ショールームの見学、課外授業、異文化体験などの機会を設けました。

今後は、留学生サポートの更なる強化（日本語科と連携した日本語能力の向上・介護福祉士国家試験合格率の向上・様々な日本文化体験の提供・就労先ニーズに応じた職業人養成など）に加え、他の養成校にない特色を打ち出していく必要があります。

3月には10名の卒業生を福祉人材として地域に送り出すことができました。

介護福祉士国家試験は全員が受験し、5名が合格しました。（うち留学生4名）

Ⅲ. 進路・就職

(1) 日本語科

22 名が以下の通り進学しました。

【専門学校】15 名

プロスペラ学院ビジネス専門学校 国際アニメーション専門学校 ECC コンピュータ専門学校 日産京都自動車大学校 日本国際工科専門学校 HAL 大阪 京都 YMCA 国際福祉専門学校 大原簿記ビジネス公務員専門学校 京都公務員&IT 会計専門学校 中央理美容専門学校 専門学校東京経理総合学院 関西外語専門学校

【大学】6 名

星城大学 成安造形大学 京都先端科学大学 京都精華大学 同志社大学 平安女学院大学

【大学院】1 名

Graduate School at Princeton University

【就職】7 名

(2) 介護福祉学科

卒業生の就職が以下の通り決定しました。

(福) 友々苑 (一財) 仁風会 (特非) 日本自立生活センター自立支援事業所
(株) スーパー・コート

Ⅳ. 学生生活支援

(1) 奨学金制度

日本学生支援機構奨学金及び文部科学省外国人留学生学習奨励費（職業実践専門課程特別枠）は、対象者がいませんでした。

(2) 介護福祉士等修学資金貸付事業の申請

介護福祉士養成施設に在籍する学生を対象とした介護福祉士等修学資金は、2 学年合わせ 26 名に貸付が行われました。

Ⅴ. その他事業

韓国の短大協議会主催のインターンシッププログラムで、京福大学校より看護学生 8 名を学園で受け入れました。京都校では福祉施設での現場実習を中心に、福祉用具ショールームの見学や救命講習の受講の機会も設けました。

外国人介護人材確保のため、京都市外国人介護人材受入支援事業の一環で、今年度も介護職員向けの日本語能力・介護技術研修を実施しました。最終日には受講生が日本語でスピーチを行い、16 名が修了しました。

また、京都市・京都市老人福祉施設協議会との三者協議を重ね、次年度以降は現行の研修に加え、新たに介護福祉士国家試験対策講座の受託の実現が見えてきました。これまでの実績が認められた結果であり、京都における更なる外国人介護人材確保に向け、リードしていく存在となっています。

今年度も在住外国人の方を対象に、本校独自のオンライン介護福祉士国家試験対策講座を実施しました。受験までのスケジュール提示や定期的な動画配信に加え、講師によるライブ配信にて質問へ対応するなど、合格に向けてサポートを行いました。

附帯事業活動として、英語教育プログラムでは、年度末時点で 52 名の青少年と 25 名の成人の方々が英語力向上のために参加されました。

VI. 地域協力

京都府外国人介護人材支援センター（京都府社会福祉協議会）より、外国人介護人材受入れに係るオンラインセミナーの講演依頼がありました。受入れを検討している（または受入れをしている）京都府内の法人や事業所職員を対象に「外国人介護人材の養成について」をテーマに、日本語科と介護福祉学科を併せもつ本校のノウハウを提供しました。

舞鶴YMCA国際福祉専門学校

I. 2024 年度教育概況

開校 10 年目を迎え、9 期生を送り出しました。介護福祉学科は、京都府立看護学校において看護学生との交流授業を行いました。介護職と看護職という立場を超えて、一つの事例についてグループで話し合い、意見交換をしました。その中で多職種連携の大切さを学びました。国際観光ビジネス学科は、北部の一流ホテルや旅館での年間 4 カ月に及ぶ就業実習や、地域の文化歴史を知るフィールドワークを行なうなど、特徴ある授業が展開できました。新型コロナ感染拡大により 4 年間開催していなかった学園祭を再開し、多くの福祉施設の協力を得て盛大に行うことができました。卒業生全員（16 名）が、希望通りに就職することができました。

II. 各学科の教育

（1）国際観光ビジネス学科

宿泊観光人材養成スキームにより、3 名の留学生（すべて台湾）が入学しました。前期は舞鶴市の観光ホテル、後期は京丹後市網野町の高級旅館で就業実習を行いました。

（2）介護福祉学科

今年度の入学生は 15 名（全員日本人）でした。実習は予定通り実施しましたが、途中で実習施設のコロナ感染等により、日程を変更せざるを得なかった学生もいました。介護福祉士国家試験は 2 年生 16 名が受験し全員が合格しました。

Ⅲ. 進路・就職

(1) 介護福祉学科

卒業生 16 名の就職が以下の通り決定しました。

(社福) 大樹会、(社福) 京都眞生福祉会、(社福) 福知山学園、(社福) 空心福祉会、(社福) 与謝郡福祉会、(社福) 博愛福祉会、(社福) 成光苑、(社医) 正峰会、(国共連) 舞鶴共済病院、(社福) みずなぎ学園、(有) グッとサポート

Ⅳ. 学生生活支援

(1) 奨学金制度

介護福祉士養成就学資金は 25 名（京都府北部の自治体就学資金、京都府社会福祉協議会）に貸与されました。日本生命保険協会奨学金は 1 名に給付されました。

Ⅴ. その他事業

韓国の京福大から、グローバル現場学習事業として、看護学部の学生 8 名を 2 か月間（9/2～10/25）受け入れました。日本語の授業をはじめ、病院等見学、地元看護系高校との合同授業、日本文化歴史に関するフィールドワークなど、盛りだくさんの内容で研修をしていただきました。

舞鶴市主催の観光おもてなし講座事業を運営受託しました。今年度は南丹市美山に移住し、地域を巻き込んで美山の活性化に尽力されている講師を迎えました。講演では、地域住民とともに活性化に向けて取り組んでいくことの重要性や、そのノウハウなどを、ご自身の経験を交えてお話しいただきました。講演後は、参加の皆さんが、それぞれが持つ悩みや課題を出し合い、意見交換するワークショップを行いました。参加者数は 10 名でした。

「はじめての介護講座」として、家庭内でこれから介護が始まる方、介護に悩んでいる方を対象に、体験型の講習会を開催しました。本校教員が講師を務め、全 4 回 10 名が受講されました。

海外からのシニア世代に向けたコンセプトツアーを企画し、9 月 2 日～15 日で開催しました。台湾から 50 代～70 代のシニア 18 名を迎えて京都市内を中心に体験型観光プログラムを行いました。

Ⅵ. 地域協力

舞鶴赤レンガハーフマラソンボランティアとして、本校 1 年生と韓国からの短期留学生が参加しました。また、12 月には北京都フロンティアワイズメンズクラブと共催で YMCA 学童野球大会を開催し、多くの子どもたちが参加しました。

以上